

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
適切な避難行動をとりましょう

災害時には、**危険な場所にいる人は
避難することが原則**です。

知っておくべき**5**つのポイント

- 避難とは**[難]**を**[避]**けることです。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 非常時に持ち出すべきものを、あらかじめリュック
サックなどに詰めておき、避難する際はいつでもす
ぐに持ち出せるようにしておきましょう。



<中津市ホームページ：防災備蓄のすすめ>

- 中津市が指定する避難場所、避難所に避難する際は
必ず**中津市ホームページ**、**中津市防災ポータルサイ
ト**等で開設しているのを**確認**して避難して下さい。



<中津市ホームページ> <中津市防災ポータルサイト>

- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。
早めの避難を心掛けるとともに、やむをえず**車中泊**を
する場合は、浸水しないよう**周囲の状況等を十分確認**し
て下さい。

今のうちに、

自宅が安全かどうかを

確認しましょう！



中津市 防災マップ WEB版

検索

避難行動判定フロー

スタート!

あなたがとるべき避難行動は？

中津市防災マップ※で自分の家がどこにあるか確認しましょう。

※中津市防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、中津市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル**3**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル**3**が出たら、中津市が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル**4**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル**4**が出たら、中津市が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう